

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

4年間の集大成として人間健康学部で学んだ知識や課題を検討し、論文としてまとめ学問的な関心を発展させる。ゼミ内で論文を発表するためプレゼンテーション準備し各自発表する。さらに代表として学部内の発表会に参加する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	個人ワーク、プレゼンテーション準備、プレゼンテーションの実施、グループディスカッション メディア授業2回程度実施 オンデマンド

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	論文の加筆修正を行う(1)	論文は前期の専門演習Ⅲで完成させるが、個人ワークにより修正を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	論文の加筆修正を行う(2) 個別指導	個人ワークにより修正を行う。随時個人指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	論文の加筆修正を行う(3) メンバー間での意見交換	個人ワークにより修正を行う。結果から考察できているか、文献を活用できているかメンバー間で確認しあい、意見交換を行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	プレゼンテーションの準備(1) 全体説明	発表に向けて効果的な方法を考え、パワーポイントなど作成する。発表時間に合わせたスライドの作成について確認する。	<input type="checkbox"/>
第5回	プレゼンテーションの準備(2)	発表に向けて効果的な方法を考え、パワーポイントなど作成する。伝えたい内容を精選し、わかりやすい表現をする。	<input type="checkbox"/>
第6回	プレゼンテーションの準備(3) 個人指導	発表に向けて効果的な方法を考え、パワーポイントなど作成する。各自作成したスライドについて相談、指導を受ける。	<input type="checkbox"/>
第7回	発表原稿の作成(1)	ゼミ内での発表を想定し、一人15分での発表のため、発表内容を整理し、メンバーに伝わるように文章を作成する。	<input type="checkbox"/>
第8回	発表原稿の作成(2)	発表に向けて15分間で発表し、質問に答えられるよう準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	発表原稿の作成(3) 個人指導	スライドに合わせプレゼンテーションが行えるか練習を行う。相談・指導を受ける。	<input type="checkbox"/>
第10回	ゼミ内発表(1)	ゼミのメンバー間で発表しあい、質問やディスカッションを行い、学びを深める。	<input type="checkbox"/>
第11回	ゼミ内発表(2)	ゼミのメンバー間で発表しあい、質問やディスカッションを行い、学びを深める。	<input type="checkbox"/>
第12回	学部内発表者の準備(1)	代表者を決め、発表に向け協力し、修正を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	学部内発表者の準備(2)	代表者により発表のリハーサルを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	学部発表	発表会に積極的に参加し、質問などを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	学部発表	発表会に積極的に参加し、質問などを行う。 集大成としての学びを深める。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

・ゼミの授業時間前後に主体的な学びを行う。プレゼンテーションのスライド作成は、発表したい内容を精選し、効果的なスライド作成のため授業前2時間準備が必要である。また授業内には教員から指導を受けより内容をよくしていくため授業後2時間の取り組みが必要である。
・スライドに沿ってプレゼンテーションが行えるよう発表文章の作成を行うため、授業前2時間の準備、と指導を受け、2時間の修正を行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

進行状況に応じて、各自指導を受ける。自己の考えをリフレクションし、教員の指導に応じ修正していく。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	保健やケア分野における課題を検討した結果をレポートし論文とする。また資料作成しプレゼンテーションを行うことができる。メンバー間のディスカッションを行うことができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

1. プレゼンテーションを行うためのスライドが、わかりやすく効果的に作成できたかを評価する。(50%)
2. 発表のための文章がわかりやすく、適格に記述できたかを評価する。(30%)
3. メンバーの発表に際し、質問や意見交換に積極的に参加できたかを評価する(10%)
4. 論文作成からプレゼンテーションまでの参加姿勢は、積極的に謙虚学びの姿勢であったかを評価する。(10%)

■テキスト (Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	各自論文作成のための文献収集を行う。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要時適宜文献の提示を行う。	
2		
3		
4		
5		